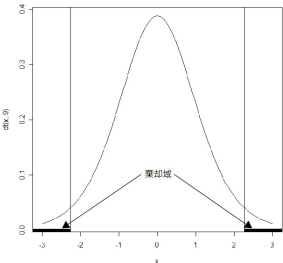
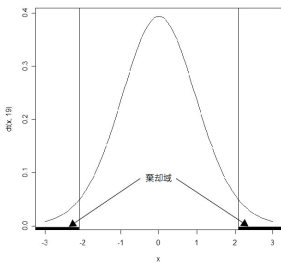


『Rによるやさしい統計学』（第1版第1刷）

頁	箇所	誤	正
P3	12行目	Rはフリーソフトウェアで主として統計解析に利用されています。つまり、自由 (free) に使うことができ、無料 (free) で使うことができること、そして、たくさんの人がRの開発に無償で協力しており、日々向上しているソフトウェアであることがRの特徴といえるでしょう。	Rとは、主として統計解析に利用されているフリーソフトウェアです。このソフトウェアは、自由に利用、改変、再配布ができ、また、たくさんの人がRの開発に無償で協力することで日々向上しているという特徴を持っています。しかも、嬉しいことに現在、誰でもその成果を無料で手に入れることができるのです。
P9	下から4行目	2007年12月24日時点での最新バージョンは2.6.1ですが、	<この部分を削除する>
P138	表5.6 使い方	qの値を求める。	qの値を求める。
P153	11行目	この検定統計量は、帰無仮説のもとで自由度 $df=n-1=10-1=9$ のt分布に	この検定統計量は、帰無仮説のもとで自由度 $df=n-1=20-1=19$ のt分布に
P153	図6.2	現状の図 	次の図に差し替え 
P154	1~4行目	> qt(0.025,9) #自由度 9 の t 分布で下側確率 0.025 となる t の値を求める [1] -2.262157 > qt(0.025,9,lower.tail=FALSE) #自由度 9 の t 分布で上側確率 0.025 となる t の値を求める [1] 2.262157	> qt(0.025,19) #自由度 19 の t 分布で下側確率 0.025 となる t の値を求める [1] -2.093024 > qt(0.025,19,lower.tail=FALSE) #自由度 19 の t 分布で上側確率 0.025 となる t の値を求める [1] 2.093024
P154	▲	> curve(dt(x,9),-3,3) > abline(v=qt(0.025,9)) > abline(v=qt(0.975,9))	> curve(dt(x,19),-3,3) > abline(v=qt(0.025,19)) > abline(v=qt(0.975,19))

頁	箇所	誤	正
P154	10行目	これより棄却域は $t < -2.262157$ 、 $t > 2.262157$ となります (図6.2)。	これより棄却域は $t < -2.093024$ 、 $t > 2.093024$ となります (図6.2)。
P304	7行目	各因子の中で因子負荷の高い順に科目を並べ、共通性の……	因子ごとに因子負荷の高い項目をまとめて並べ、共通性の……
P304	9行目 ▲	「因子負荷の高い順に並べる」ことをRで実行するには、 <code>factanal (五教科, factors=2, sort=TRUE)</code> のように、引数に……	「因子ごとに因子負荷の高い項目をまとめて並べる」ことをRで実行するには、 <code>print (五教科因子分析, cutoff=0, sort=TRUE)</code> のように、引数に……
P308	6行目	現在の ▲ の前に ▲ を挿入	なお、本書で紹介したRによるプロマックス回転による解は、SASやSPSSの解と値が異なります。これはRの解が間違っているということではなく、ソフトにより計算過程が異なるために起こることです。論文等で分析結果を報告する際には、用いたソフトの種類を記載しておくとういでしょう。
P380	5行目	現時点 (2007/10/13)	現時点 (2008年6月時点)
P380	18行目	情報数理研究所ライフサイエンスグループ http://bg9.imslab.co.jp/Rhelp/index.html 加藤悦史先生 http://hosho.ees.hokudai.ac.jp/%7Ekato/unix/R.html 奥村泰之先生 http://cat.zero.ad.jp/~zak52549/R.html 田畑智司先生 http://www.lang.osaka-u.ac.jp/%7Etabata/JAECS2004/multi.html	情報数理研究所ライフサイエンスグループ http://bm2.genes.nig.ac.jp/RGM2/index.php 加藤悦史先生 http://hosho.ees.hokudai.ac.jp/~kato/unix/R.html 奥村泰之先生 http://blue.zero.jp/yokumura/R.html 田畑智司先生 http://www.lang.osaka-u.ac.jp/~tabata/JAECS2004/multi.html
P387	2行目	<code>In cor.test.default (時間, テスト, method = "kenda</code>	<code>In cor.test.default (時間, テスト, method = "kendall") :</code> Cannot compute exact p-values with ties
索引	[Rキーワードh]	追加	<code>hist()</code> 41
	[Rキーワードs]	<code>scale()</code> 339	<code>scale()</code> 338
	[さ]	最尤推定法 304	最尤推定法 305